

パネル⑥ 現在のグリーンホールの状況・課題（舞台形式・客席形状）



大ホール

舞台形式：プロセニウム形式
客席形状：並行配列
座席幅：465mm
前後奥行：930mm



小ホール

客席形状：平土間

<利用者・利用団体の声>

【大ホール】

- ・演奏，演劇，講演会など多目的な利用ができる。
- ・特にクラシックコンサートでの音響に定評がある。（舞台上に可動式の音響反射板を設置）
- ・観客席の間隔が狭い。
- ・大型の搬入を舞台せりで行っているため，舞台上にセットを組んでしまうと搬入ができない。
- ・舞台袖が狭く，舞台装置を置くと，出演者の入れ替えがしにくい。

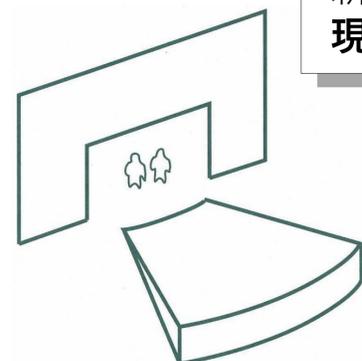
【小ホール】

- ・飲食ができることで，レセプションや交流の場として活用できる。
- ・大小ホールで相互に音漏れしてしまうため，催しの内容によっては，音漏れ対策として他方のホールの利用が制限される場合がある。

多目的ホール，音楽や演劇などの専用ホールなど，どのようなホールが新たなホールに適しているでしょうか？

パネル⑦ 他ホールの事例（舞台形式・客席形状）

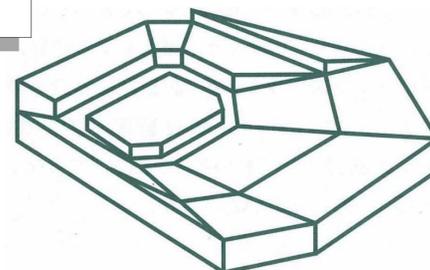
舞台形式



プロセニウム形式

舞台をプロセニウム・アーチと呼ばれる構造物で額縁状に区切る形式で、緞帳(どんちょう)などの舞台幕があることが特徴。舞台上にすでに演者がいる状態で開幕することができるため、**伝統芸能などには必要な機能**であり、**多目的ホールに適している。**

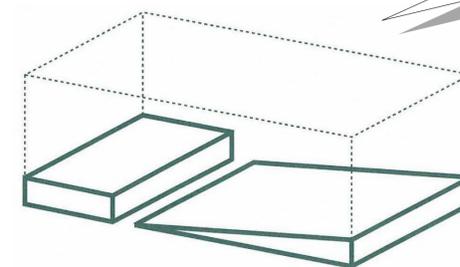
府中の森芸術劇場（どリーむホール）
新宿区立新宿文化センター（大ホール）
現在のグリーンホール(大ホール)



アリーナ形式

客席がいくつかのブロックに分かれ舞台を取り囲むように並べる形式。多角形のような平面形状になり、**比較的規模が大きくなる傾向**がある。あらゆる角度から観劇されるため、**舞台装置や演出には制限がある。**

サントリーホール
ミュージア川崎シンフォニーホール



シューボックス形式

くつ箱型（長方形）をしており、舞台に対して平行に客席を並べることで、音が均一に響きやすく、音響特性に優れている。バルコニー席（舞台の後ろや横）が設けられることもあり、**中小規模の音楽ホールに適している。**一方で、幕などの吊り物を設置することができないため、演劇やバレエ等には不向き。

オーチャードホール
すみだトリフォニーホール
東京オペラシティ・コンサートホール

客席形状



箕面市立文化芸術劇場
：円弧配列（1401席，客席2層）

客席はすり鉢状に近く、どの席に座ってもステージが見やすい。
座席幅：530mm以上
前後奥行：950mm以上（要求水準）



那覇文化芸術劇場 なは一と大劇場
：千鳥配列（1594席，客席3層）

1列ごとに客席を半分ずらし前列の客席の間からステージを見る。多くのホールで採用されている形式。
座席幅：520mm
前後奥行：950mm



五泉市交流拠点複合施設 ラポルテ五泉
：平土間形式

前方の段床固定席を取り外し、移動型客席を後方に収納することで平土間形式で利用することができる。

パネル⑧ 現在のグリーンホールの状況・課題（小ホール・楽屋など）



小ホール

客席形状：平土間
客席数：最大300席



楽屋

大ホール：5室
小ホール：1室



リハーサル室

1室（73㎡）
（板張り※土足禁止）

<利用者・利用団体の声>

- ・小ホールは平土間形式のため、展示を行ったり、椅子を並べて発表会を行ったり、多目的に利用できる。
- ・小ホールは飲食ができることで、レセプションや交流の場としても活用できる。
- ・大ホールでは公演、小ホールでは関連ワークショップなど、大ホールと一体で催しを行うことで、催しの幅が広がる。
- ・楽屋が小さく不足しているため、リハーサル室や倉庫も、楽屋として使用していることがある。
- ・リハーサル室は、舞台使用者が別にいると使用できない（ホールの付帯施設になっている）ため、単独使用できるリハーサル室など複数あると良い。
- ・舞台本番同様のリハーサルができるよう、舞台面と同じ大きさのリハーサル室がほしい。
- ・複数人で音が出せる練習室が不足している。

新たなホールの小ホールには、どのような機能があると良いのでしょうか？

パネル⑨ 他ホールの事例（小ホール・楽屋など）

練習室



北上さくらホール

吹き抜けに面したガラス張りの練習室が設けられており、公開練習などにも使用することができる。

杉並公会堂 大ホール：1190席
小ホール：194席

スタジオD

小ホール舞台と同程度の規模感となっており、バレエやダンス公演を想定した練習を行うことができる。

リハーサル室

グランサロン
(大規模音楽練習室) 245㎡ / 160名

練習室

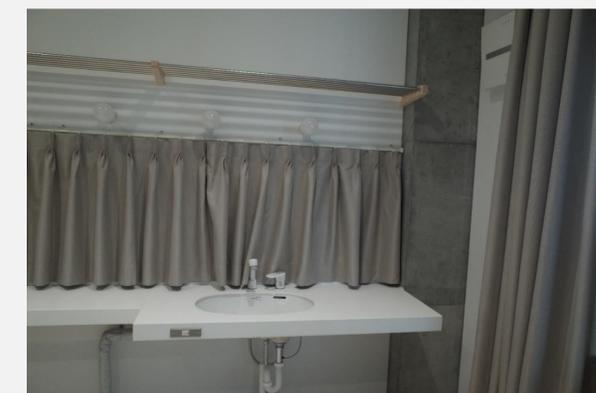
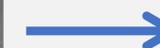
スタジオA	46㎡/コーラス30名程度
スタジオB	24㎡/バンドで10名
スタジオC	32㎡/コーラスで20名
スタジオD	58㎡/ダンスレッスンで20名
スタジオE	15㎡/バンドで5名～6名

楽屋



三次市民ホール きりり

会議室としても使用できる楽屋。
化粧台の鏡をカーテンで隠せるようになっている。



パネル⑩ 現在のグリーンホールの状況・課題（バリアフリー対応）



エレベーター 1基
(定員13人/900kgまで)

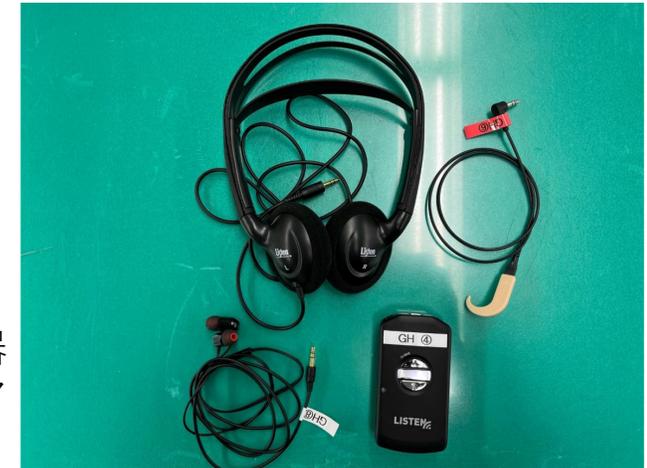


常時座席を取り外した「車いす用客席」として6席を確保。

扉付近だけでなく、客席の前方中央にも配置することで、車いすの方にも席を選んでいただけるよう工夫。

F M 集団補聴システムを導入
(大ホール)

貸出し用受信機や手持ちの補聴器を使用して、場内の音声をクリアに聞くことのできるシステム。



<利用者・利用団体の声>

【観客の視点】

- ・エレベーターは施設に1基しかなく、入り口やかご内も狭い。
- ・大ホールの2階客席まで行けるエレベーターがない。
- ・観客席の出入口付近だけでなく、前方中央部分に、常時座席を取り外した車椅子用鑑賞スペースを設けている。
- ・小さな子どもと一緒に鑑賞できる「親子鑑賞室」がない。

【主催者・演者の視点】

- ・子ども連れの参加者が多いイベント等では、ロビーなどの共用スペースをベビーカー置き場として運用している。
- ・常設の「授乳室」がないため、2階会議室などの部屋を活用している。
- ・楽屋側にエレベーターがない。
- ・リハーサル室が3階にあり、2階の舞台までの動線が階段のみのため、特に高齢の場合、直前の練習ができないことがある。
- ・現在の客席椅子は、跳ね上げ式ではないため、本番前に椅子を上げる作業をしなければならない。

誰もが使いやすいホールとなるためには、どのような設備・機能が必要でしょうか？

パネル⑪ 他ホールの事例（バリアフリー対応）

ホール内の段差解消



カルッツかわさき

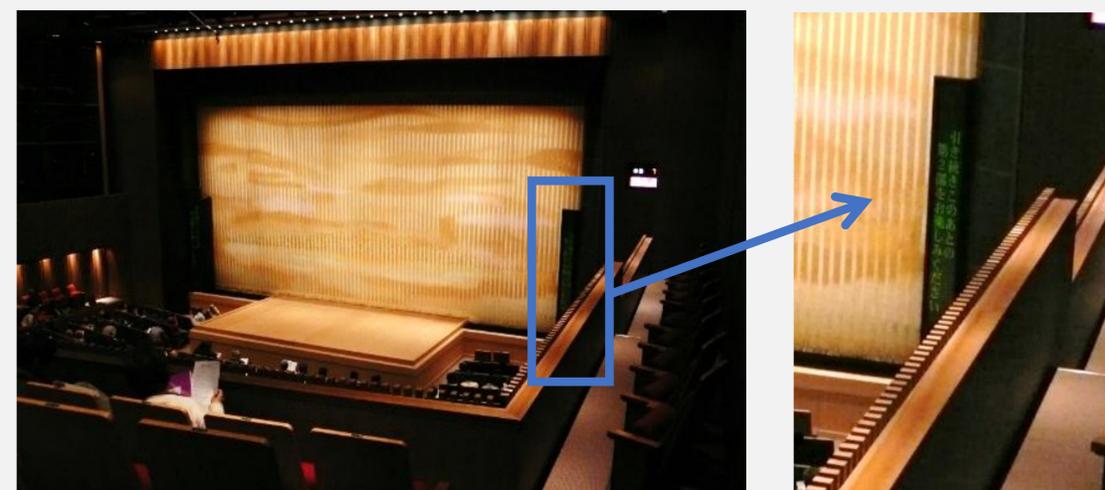
舞台，中通路，ホワイエ，楽屋エリアを同一レベル上で計画されており，車椅子等を利用する観客・出演者が段差なく行き来できる。

字幕設備



国立能楽堂

各席に字幕設備が設置されている。



国立劇場おきなわ

舞台の両端に大型LED字幕設備が設置されている。

* 字幕設備は機器レンタルでの対応も可能。必要な人のみ自席で対応するポータブル字幕もある。

車椅子用観覧席



日生劇場

客席そのものが可動式になっており，客席通路まで車椅子で移動し，客席に着席できる。

親子観覧席



大ホール

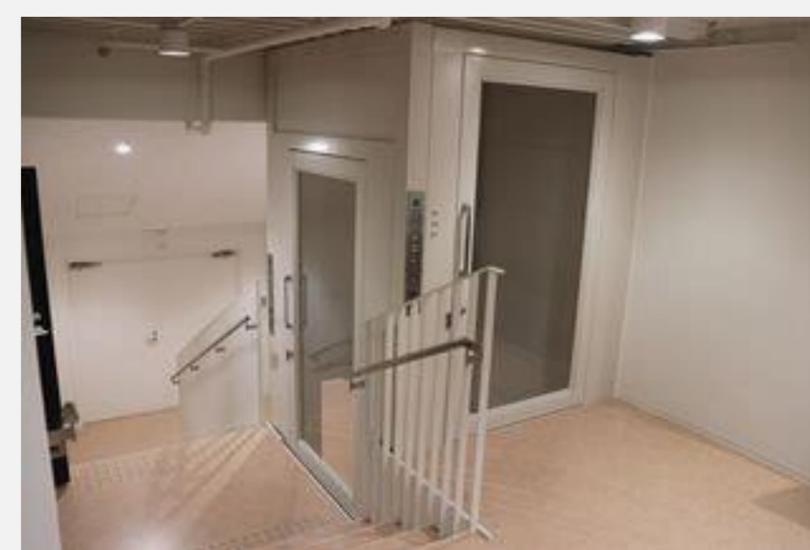


小ホール

東広島芸術文化ホール「くらら」

可動席を配置し，必要に応じて席を減らすことができる。親子観覧用だけでなく，障害のある方の利用など様々な目的に使用されることもある。

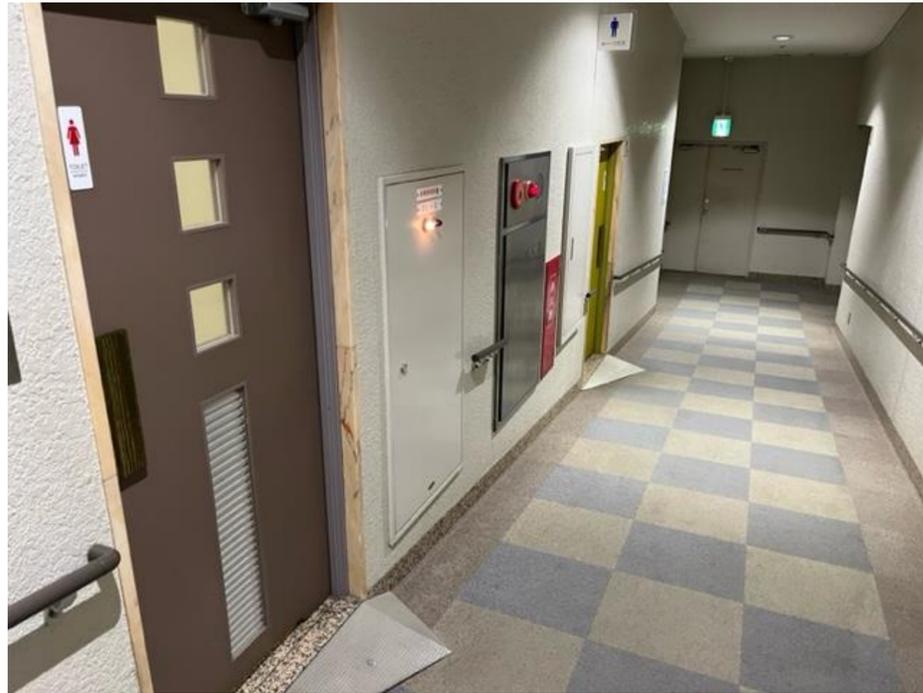
主催者・演者のバリアフリー



パルテノン多摩

車いすの方も客席最前列，楽屋フロア，舞台面のいずれにもアクセスできるように，段差解消機を設置。

パネル⑫ 現在のグリーンホールの状況・課題（その他設備）



大ホール横トイレ

大ホール1307席 個数39個
(男子：11 女子：28)



大ホールホワイエは、ホール公演と連動したワークショップや展示などのイベントにも活用されている。

<利用者・利用団体の声>

- ・トイレの数が少なく、公演の合間には長蛇の列ができてしまう。
- ・男子トイレ内にもおむつ交換台があるのは良い。
- ・楽屋側のトイレが不足している。オーケストラなど出演者の人数を考慮した配置が必要。
- ・楽屋からステージの動線が良くない。ステージと同じフロアでない楽屋も、すぐにステージ袖に行けるような動線が必要。
- ・小道具や衣装などの持ち込みの際、階段での移動が負担。駐車場から楽屋、舞台袖までのエレベーターがほしい。
- ・エスカレーターを設置するなど、ロビーに人が滞留しないような工夫がほしい。エレベーターのみだと退出時に時間がかかる。

誰もが使いやすいホールとなるためには、どのような設備・機能が必要でしょうか？

パネル⑬ 他ホールの事例（その他設備）

トイレ



兵庫芸術文化センター
大ホール2001席 個数111個
（男子：25 女子：86）
タグ付きのトイレ扉
トイレ利用者の列から空いて
いるブースが分かるよう、空
いているトイレの扉に待って
いる人から見えるようにタグ
を付ける。

東京建物BlliriaHALL
ホール1248席 個数48個
（男子：10 女子：38）
間仕切りの可動化
トイレの男女が接する部分に
二箇所可動間仕切を設置し、
来場者の男女比に合わせて
トイレの台数を変動させる。

岡山芸術創造劇場 ハレノワ
ホール1753席 個数70個
（男子：13 女子：57）
ウォークスルー（通り抜け）
入口と出口を別に設けて人の流
れを一方通行にすることで、
入口付近で人が混雑するのを
防いでいる。



パルテノン多摩

小さな子どもも使いやすい子ども
用トイレが設置されている。

動線の工夫



太田市民会館

スタジオ（左手奥のグレーの壁）を楽屋と
して使う場合、パーティションを設置し
て、演者が来場者から見えなく
している。（右手奥がホールに通じて
いる）



パルテノン多摩

入口から総合案内、ミュージアムへとつな
がる動線を照明で表現している。